

平成21年度病害虫発生予報第9号(12月予報)

今月のトピックス

ヒゲマダライナゴ(さとうきび)

学名 : *Hieroglyphus annulicornis*



成虫



ヒゲマダライナゴによる食害



幼虫

生態と被害

南方系の大型のバッタで、成虫の体長は雌が40～55mm、雄が約40mm。頭部は大型で幅広く、体色は全体に黄緑色で光沢がある。胸部に3本の黒色の縞があり、触角は黄色と黒褐色のまだらである。幼虫は個体により体色に変異がある。発生は年一回で幼虫は4月下旬から、成虫は6～7月に見られるが、詳細な生態は不明である。

イネ科植物を加害し、干ばつ時には異常発生することがある。さとうきび畑で大発生すると中肋を残して食い尽くす。台湾ンツチイナゴやトノサマバッタに比べて飛翔力が弱いため、発生地は限定される。宮古・八重山群島のほか台湾、中国、インドなどに分布する。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>